

■ 12月定例会で議決された平成30年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額	
一般会計 (第3号)	市制65周年記念コンサート準備経費	18万4千円	11億4,177万円	310億6,762万1千円
	三河大島海の家解体工事費	8,800万円		
	道路反射鏡設置工事費	100万円		
	クルーズ船誘致受入負担金	300万円		
	教育文化振興基金積立金	50万円		
	小学校ブロック塀撤去等事業費	1,080万円		
	小学校普通教室等空調設備設置工事費	5億9,150万円		
	中学校ブロック塀撤去等事業費	570万円		
	中学校ICT機器購入費	133万円		
	中学校普通教室等空調設備設置工事費	3億9,050万円		
	新竹谷運動広場整備事業費	3,076万1千円		
一般会計 (第4号)	県議会議員一般選挙執行費	280万円	530万円	310億7,292万1千円
	市議会議員一般選挙執行費	250万円		
下水道事業 特別会計 (第2号)	繰越明許費変更(公共下水道整備事業) 補正前: 4,100万円 補正後: 2億6,100万円	-	-	25億8,790万円
モーターボート 競走事業会計 (第1号)	債務負担行為追加 事項: プレミアムGI競走開催事業 期間: 平成31年度 限度額: 4,400万円	-	-	931億6,920万円

問 31年度に予定される地域外からの人材還流の促進を目的とした東三河の企業とのマッチング支援事業の予算規模は。

答 大学生や専門学校等に
通う世代のほか、東三河出身者や地域外のすぐれた人材を指します。

●本会議での主な論点
賛成若者等の人材還流は、人が流入し、定着する地域をつくるための施策である。

答 詳細を精査中ですが、広域連合から当初示された資料によると8百万円から1千万円程度の予算を予定しているとのこと。

本市のすぐれた技術力を持つ企業、ひいてはそうした企業が数多く立地する本市を含めた東三河を知ってもらおう機会の創出は重要で、スケールメリットを生かした広域的な実施は効率的かつ効果的だと考える。

反対市が行っている事務を

■ 陳情

- 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書
提出者 愛知自治体キャラバン実行委員会
代表者 森谷 光夫
審査結果 聞きおく(一部「不採択」)
- 国に対して「学童保育指導員の資格と配置基準の堅持を求める意見書」の提出を求める陳情書
提出者 愛知学童保育連絡協議会
会長 江坂 佳代子
審査結果 聞きおく
- 国に対して「放課後児童支援員等の処遇改善事業に係る事務等の簡素化を求める意見書」の提出を求める陳情書
提出者 愛知学童保育連絡協議会
会長 江坂 佳代子
審査結果 聞きおく
- 国に対して「待機児童と保育士不足解消のための実効性ある対策を求める意見書」の提出を求める陳情書
提出者 愛知保育団体連絡協議会
会長 本田 たみ代
審査結果 聞きおく

広域連合に徐々に移していくことにより、市の行政が形骸化されてしまう。本市が負担する予算額も明確にされなかった。また、委員会に提出された資料では、事業の概要を把握するのに不十分だった。

●市道の路線認定及び廃止(第85号議案)
下前田8号線を路線認定し、下前田1号線を廃止します。

■ 請願

- ③「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書採択に関する請願書
提出者 愛知県原水爆被災者の会(愛友会)
理事長 恩田 明彦
審査結果 不採択
(○内の数字は、請願番号)